



令和7年度 岡山市日本語教育推進事業

※数値は令和8年3月25日現在のもの

取組・効果

支援体制の構築

日本語指導の充実

日本語指導力の向上

<実施項目(1)> 外国人児童生徒の支援に 係る連絡協議会の実施

- ・各課の取組や課題について情報共有、課題解決策やよりよい支援につながる連携について協議
- ・日本語指導加配指導員情報交換会の実施【4回】

→日常的な情報交換等他課と連携した取組
→指導者の意欲や意識の向上

<実施項目(7)> ICTを活用した教育・支援

- ・携帯型翻訳機の貸出【児童生徒数 87人
学校数 37校】
- ・携帯型翻訳機や端末の翻訳アプリを活用した指導

→児童生徒同士の交流場面の増加
→コミュニケーション意欲の向上

<実施項目(2)(10)> 日本語指導支援員の派遣

- ・週1～2回、1回あたり2時間を原則に派遣
初期指導補助のため派遣【日本語指導が必要な児童生徒の約2割に派遣】
- ・日本語指導で使用する教材の購入【日本語指導実施校約6割】

→個に応じた効果的な日本語指導の実施

<実施項目(3)> 「特別の教育課程」の充実

- ・岡山市教育研究研修センター主催の研修講座の実施【オンライン1回 対面研修2回】
- ・オンラインで定期的に情報交換会を実施【3回】
- ・教育課程研究協議会で説明
- ・学校訪問による指導助言【2回程度】

→個別の指導計画の具体化・充実

<実施項目(4)> 成果の普及

- ・岡山市教育研究研修センター主催の研修講座で好事例等を紹介
- ・市内学校共有フォルダを活用し、学習指導案や資料を共有

→指導者の意欲・意識の向上
→各校の日本語指導や体制づくりの見直し

成果

児童生徒の安心感・円滑な適応

児童生徒の日本語能力の向上

